



H 30. 3. 9 (金)

「わあ、何これ？」

保育室に差し込む日射しがあたたかくなり、春の訪れを感じることが多くなりました。4月の進級に向けてすみれ組の保育室へ遊びに行っています。初めは“どこに行くんだろう？”という表情の子どもたちでしたが、新しいお部屋に入ると“何これ？”“これは何だろう？”という顔をして探索活動を始めました。お気に入りは、やはり手洗い場と手洗い場横のフックでした。手洗い場下の扉を開け閉めしたり、フックを引っ張ったりと夢中になって遊んでいました。新しい環境に慣れるように少しづつ時間を延ばして遊びに行ったり、食事をしたりしながら進級を心待ちにし、楽しいものにしたいと思います。

「新しいお友だちの紹介☆」

たくさん遊ぼうね！！



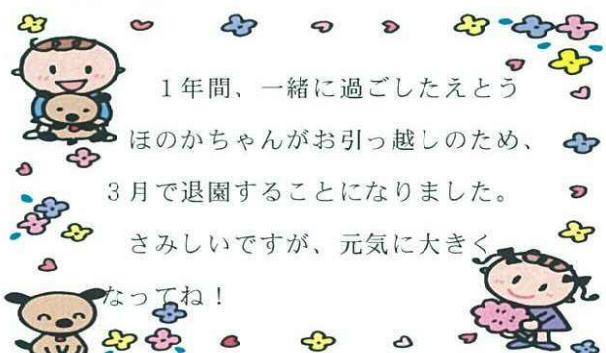
「絵本の紹介」

お昼寝のときに読んでいる絵本です。いろいろな動

あやすみなさい



物が出てきて布団をかけ「おやすみなさい」と眠ります。絵本を読み終わると子どもたちも「おやすみなさい。」と挨拶をして寝ています。



ごあいさつ

成長の著しい子どもたちの大切なこの時期と一緒に過ごさせていただき、喜びと発見の毎日でした。保護者の方から「保育園に行くのが楽しみなようで、朝は自分でかばんを持って玄関に行くんですよ。」などと家庭での様子をお聞きし、保育園での生活が子どもたちにとって安心できる場所になっていることにうれしさとありがとうの気持ちでいっぱいです。至らぬ面も数多くあったと思いますが、皆様のたくさんのご理解、ご協力を心から感謝いたします。

残りの1ヶ月、それぞれの個性の育ちを大切にして、進級へと繋げていけるように計画しています。



平成30年3月9日（金）

木々の枝にふと目をやると、小さくてかわいらしい花のつぼみがふくらんでいます。いよいよ3月です。この一年間で成長した子どもたちの姿に、喜びを感じています。すみれぐみのみんなが笑った顔、泣いた顔すべてに思い出がいっぱいです。進級まで残りわずか・・毎日を大切に過ごしていきたいと思います。



きんかんの木

外の様子を見て、「先生、お日様出とるよ」とさっちゃんが言うと、窓に友だちが集まり「今日、お外で遊ぶかね？」等お話ししています。朝の集まりで、保育士が園庭に出て遊び事を伝えると「やった～」「お日様におはようって言う」と嬉しそうにしています。園庭ではすべり台横の斜面を自分で登って、すべり台を滑ったり、亀の遊具に、友だちと一緒に乗って揺らして遊んだりしています。最近は、園舎の周りを保育士と探検しています。

給食室の窓から中の様子を見て「大きい鍋やね」「いい匂いするね」と興味津々です。園の畑の方へ進むと、きんかんの木があります。

「なんかレモンの匂いするね」「小さいね」ときんかんの実にそっと触れている姿に、子どもたちのやさしさが伝わってきます。



絵本の紹介

「おやすみなさいコッコさん」

片山 健 作, 絵

夜、おつきさま以外はみんな眠ってしまったのに、こっこさんは、まだ起きています。雲も、池の魚も、鳥も眠ったよ。とおつきさまは言うけれど、コッコさんは「コッコはねむらないもん」それでも、お布団も大事なくさんも、コッコさんのおても眠ってしまって。。。おつきさまとコッコさんのやりとりを覚えて、すみれぐみの子どもたちも一緒に「コッコさんはねむらないもん」と言っていますよ。お昼寝の前にこの本を読んでから、「すみれぐみさん、おやすみなさい」と保育士と一人ひとり抱き合っておやすみなさいの挨拶をしています。



進級にむけて・・

2歳児クラス、ちゅうりっぷぐみのお部屋で移行保育の時間を少しずつ増やしていくながら環境の変化や不安を少なくしていくように子どもたちの安定を支えていきたいと思います。

早いものでもう3月です。1年があっという間に過ぎようとしています。成長の早い、大切なこの1年を子どもたちと一緒に過ごし、保護者の方と見守れた事を嬉しく思っています。至らなかった点もある中、私たち保育士を温かく見守りながら支えて頂き本当に感謝いたしています。

すみれぐみ担任：中村、有薗、萩尾、船石



平成30年3月9日(金)

園庭に出ると、園庭の裏にある金柑の木が子ども達の興味の対象になっています。金柑の色の変化や大きさ気付き、「これはなんでまだみどりなん」「ちいさなみかんみたいやね」など思い思いに感じたことを保育士に話しかけてきます。園庭の草花や木など自分の周囲の環境に疑問詞が増えて育ちの早さに驚かされています。

～一つの輪～

朝保育室に、「せんせいとおともだち」の曲が流れるとき、子ども達の大きな輪が出来るようになりました。今まででは、2つの輪になったり、手つなぎを嫌がったりしてバラバラだったのですが、今では子ども達だけでも輪を作れるようになりました。保育士がひらいた、ひらいた何の花が開いたと歌い始めると、子ども達も一緒に歌い始め大きな輪から小さな輪になり、楽しみながら、一日の保育が始まります。



～ねないこだれだ～

登場するお化けたちが、ただただ怖いだけでなくどこか愛嬌があって可愛い表情をしています。

絵本では、時計がポンポンなって、この時間に起きているのはだれだ?とお化けが探します。フクロウ?ねずみ?どうぼう?

「こんな夜中に起きている子どもはお化けにおなり」とお化けの世界へ連れていかれてしまいます。

お昼寝前に、何度かよんでいて、子ども達も絵本の内容を覚えて、楽しく見ている一冊です。



5日(月)から、移行保育がはじまっています。ちゅりっぷ組は2階から1階へと保育室が変わります。環境の変化から不安や戸惑いを少なくしていくように、少しづつ時間を伸ばして保育室や環境を楽しめるように移行保育を進めています。クラスの移行が育ちの嬉しさにつながるようにと支えています。

ちゅうりっぷぐみ 桑原 唐木



平成 30 年 3 月 9 日(金)

今年度も残りわずかとなりましたが、進級することを心待ちにしている子どもたち。3月に入り、午前中の時間を使って、移行保育をしています。子どもたちは、ひまわり組のお部屋に入ると、「せんせい、このおもちゃ遊んでいい?」「絵本、いっぱいあるね」など興味津々。片付けの時間がくるまで、お友だちとすがろくをしたり折り紙をしたり、絵本を読んだりとそれぞれ楽しそうに遊んでいます。「そろそろ、こすもすさんのお部屋に戻ろう」と声をかけると「面白かったね」「また来ようね」など話す子どもたちです。

4月から、新しい環境に戸惑うことがないように少しづつ慣れてくれたらと思い計画しています。



～ひなまつり～

2日、ひなまつり会に参加しました。たんぽぽぐみの子どもたちが計画し、「うれしいひなまつり」の曲に合わせて、踊りや歌を披露してくれました。その間、こすもす組の子どもたちは、真剣な眼差しで見ていましたよ。会が終わり、部屋に戻ると、「たんぽぽさん、踊り上手やったね」と鈴奈ちゃんが話すと、周りの子どもたちも、「可愛かったね」「あの歌しってるよね」など会話が弾んでいました。最後は、ランチルームで、ひなあられを美味しそうに食べていた子どもたちです。



こすもす組担任：崎野

ひまわりだより

H30.3.9(金)

2日にひなまつり会がありました。“女の子の成長を祝うひなまつり”ということで今年は5歳児クラスの男の子が、計画してくれました。たんぽぽ組の男の子とひまわり組の男の子で押し相撲をして力比べをしたり、「ひなまつり」の踊りを見たり楽しそうに参加していました。踊りが始まると目を輝かせて見ていた子どもたち。お部屋に戻ると「たんぽぽさんの踊りすごかったね」と友だちと話したり、『ひなまつり』の歌を歌いながら、踊りを真似したりしていました。

5歳児への憧れや進級する期待の気持ちを大切に、残り1か月子どもたちと一緒に過ごしていきたいと思います。



お知らせ

17日の卒園式に在園児の代表で、ひまわり組が出席します。
式は10時～12時の予定の為、9時30分から9時50分の間に登園
12時から12時15分の間にお迎えをお願いします。
服装は体操服上・下、スモック、白い靴下です。ご協力をお願いします。

最後に

一年間、ひまわり組の子どもたちと一緒に過ごし、保護者の皆様と成長を喜び合うことが出来たことを嬉しく思います。これからも子どもたちの育ちを一緒に見守っていけたらと思います。保護者の皆様には色々とご協力して頂きありがとうございました。



4歳児担任:草場、今丸



たんぽぽだより



発行：平成30年3月9日（金）

長い冬が終わり、再び春がやってきました。たんぽぽ組へ進級してからの1年間、みんなで一緒に笑い合ったり、悩んだり、時には友だちと思いがぶつかることもありましたが、その度にたんぽぽ組14名は力を合わせ、みんなで助け合って乗り越えてきました。4月当初は、まだまだつぼみだった子どもたちも、満開の花を咲かせ心の成長をみさせてくれました。元気いっぱいの14名の笑顔に囲まれ、楽しく過ごすことができました。

保護者の皆様の深いご理解とご協力に、感謝しております。本当にありがとうございました。



「僕たちのひなまつり」

今年のひなまつり会は、“女の子のお祝いをしよう”とたんぽぽ組の男の子だけで話し合い、計画を立てました。「女の子が喜ぶことってどんなことだろう…」と男の子7名が女の子のことを想い、毎日のように部屋の隅に集まっては話し合いをし、そんな男の子の様子を見て、女の子たちも「私たちも男の子に何かプレゼントしよう！」とこっそり集まり話し合いを始めました。当日のひなまつり会では、男らしいところを見せてもらおうと子どもたちの考えた男らしい歌“富士山”を披露したり、力自慢大会で相撲をしたりと、とても大人が思いつかないような発想で驚かせてくれました。最後に男の子から、女の子へ手紙をプレゼントすると、「お家に帰ってから読んでね」と恥ずかしそうに手紙を渡す男の子に、女の子も照れて顔を隠しながら受け取っていました。そんな男の子の気持ちに応えるように、女の子たちからも手作りのお守りや折り紙、自分たちで考えた振り付けた“ありがとうの花”を踊りました。子どもたちだけで計画し、進行していくるだろうかと当日まで「大丈夫だろうか」とソワソワしていた私の心配をよそに、環境構成から司会まで全て子どもたちがやりとげ、子ども同士で協力し助け合いながら進めていく姿は、本当に楽しそうで、目を輝かせながら生き生きとしていました。小さい頃から一緒に過ごしてきた仲間を助け合う姿を力強く思い、心の底からぽかぽかと暖まるような私の一日でした。

待ちに待った卒園食事会！

3歳以上児になり、ランチルームでお食事をしてきました。3年間の総仕上げとして、レストランへお食事に行きました。

食事会の日を楽しみにしていた子どもたちは朝から「どんなごちそうかな」と期待を膨らませ、食事会の話で持ちきりです。ホテルに着くと「何だかどきどきしてきた」と緊張した表情でしたが、豪華な食事に「緊張するけど、こんなにおいしいお食事初めて」とお腹も胸もいっぱいの様子でした。他のお客様もいる中どんな振る舞いをしたら良いのか考え、ナフキンやフォーク、ナイフの使い方などマナーを経験する良い機会になったのではないかと思います。卒園を目前に控えた子どもたちにとって楽しい食事会になったようです。



5歳児担任：田中